

**あけましておめでとうございます。登校指導で思うこと・・・**

保護者の皆様、地域の皆様あけましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。また、新しい年を迎え、今年こそ良い年であるように願っています。

1月8日の始業式の朝、いつものように校門の前にたち、子どもたちの様子を見ていました。例年になく長い冬休みで、どんな表情で来るのかが少し心配でもあり楽しみでもありました。しかし、心配したこととは裏腹にどの子どもも屈託のない明るい笑顔であいさつをしてくれたことを大変うれしく思いました。

私は今までに8年間程、現場を離れ、大人ばかりの社会で仕事をした経験があります。当時は、子どもたちの高いトーンの声や雑然とした環境から離れ、少し落ち着いた仕事場で生活できることを楽しみにしていた面もあったように思います。しかし、3ヶ月、6ヶ月と過ぎていく内にやはり学校現場が懐かしくてたまらなくなっていくように記憶しています。

以前、前任校と一緒に登校指導をして頂いた地域の方が一言もらした言葉「子どもに会うと元気をもらえるんですよ。」を今日改めて感じる事ができました。

子どもたちが持つ「笑顔・元気・やる気」が本当に大人の気持ちを明るくしてくれるように思います。ずっと子どもたちと関わった生活をしていると、この実感はわかりにくいのですが、子どもたちから明るさをもらい、元気のもとをもらっているように思いました。

**携帯・スマホの功罪**

テレビの普及が家族同士のコミュニケーションを少なくしてしまったように、また、車の便利さが歩くことを億劫にし足腰を弱くしたように、私たちは便利な生活をしているうちに知らず知らず、生きてる上で基本的で大切なものをなくしてきたのではないかと思います。携帯・スマホをめぐる今日の状況もまた、これらと軌を一にするように思われます。

少し古いデータですが、文部科学省の平成19年度の調査によると、小学校6年生、中学校3年生の携帯電話のそれぞれの所持率は26.1%、60.1%となっています。一昨年頃から携帯電話にかわるスマホの登場で子どもたちの所持率はさらに伸びているかもしれません。いかに、携帯電話・スマホが子どもたちの生活に入り込み、これらに依存した生活を送っているのかがわかります。

しかし、こうした携帯電話・スマホの便利さと引き替えに子どもたちは、多くの大切なものを失ってしまっているかもしれません。例えば、携帯・スマホによるメールに費やす時間が子どもたちの学習時間を奪っているかもしれません。そして、いつでも素早く簡単にという安易さが、じっくり物事を考えて行動する力を弱くしているかもしれません。さらに携帯・スマホが個人所有のためメールも個人的で当事者間だけのものということが、人間関係の希薄なものとし、時には、いじめを助長する結果を招いているかもしれません。

そして、とりわけ危惧されることは、言葉をばらばらにして一音一音拾って親指等で入力するメールの入力方法が、子どもたちの語句や文章意識を薄め、伝えたい内容や自分の気持ちを深く考えなくさせてしまっているのではないかとことです。

しかし、一番の問題は子どもたちがメールのやりとりだけでも十分に伝えたいことが伝わり、コミュニケーションが図られているという錯覚に陥ってしまうところにあるようです。

今後ますます便利な世の中になっていくことは事実です。その中でその便利さがもたらす「功罪」を見極めた判断をきちんとしていくことが親としての義務だと思います。

**インフルエンザ対策を・・・**

3学期が始まりましたが、ご承知のようにインフルエンザが流行する時期です。既に中津市内では中学校1校と小学校3校でインフルエンザにかかっている児童がいます。早めの予防と対策をしていくように子どもたちには指導していきますが、是非家庭においても、基本は、「毎日の手洗い・うがい」と「十分な栄養及び睡眠」が大事ですので子どもたちへのお世話をお願いします。

1月のめあて

# 寒さに負けずに元気に過ごそう



3学期が始まり、子どもたちの元気な声が校舎や運動場に戻ってきました。校内に子ども達の声が聞かれ、学校にも元気が戻ったように感じます。

始業式では、校長先生から、「**みんなが一人ひとりよく考えて行動することが大事。やってはいけないと思うことは、勇気をもって、心にブレーキを**」というお話がありました。学級にもどり、子どもたちは自分の目当てをしっかりと考えていました。目当てが守れるように、励まし続けていきたいと思っています。

## ☆地区からの声

二学期末、下校指導を行いながら、各地区に立ち寄り行動を行いました。その時に聞かれた主な声です。

- ・道路から積んでいる木をとり、振り回している。敷地内の木を触る。他人の敷地内に入ったり、物に触ったりしている。川に向かって石投げや石蹴りをしている。
- ・下校途中でお店に立ち寄り試食をしている。
- ・お金を持っていない子に、友達が買ってあげるケースがある。
- ・狭い道で車体に傘をつく子がいる。砂利道をスピードをあげて自転車で通り、突然現れて危ない。
- ・水道局近くの信号手前の歩道が混んでいるときに車道を通して追い越していく子がいる。

子どもたちには、地区集会を開き、指導を行いました。また、何かお気づきの事がありましたら、お知らせください。

## 携帯ゲーム機でネット接続できるってホント？

子どもたちを取り巻くネットワーク環境は、日々変化しています。携帯電話やパソコンだけでなく、ゲーム機やデジタルTVなどインターネット接続機器が増加しています。多くの子どもが初めて手にするインターネット接続機器は携帯ゲーム機だと言われています。家庭内や飲食店内の無線LANエリアではサイト閲覧や、知らない人とのゲーム対戦が可能です。子どもが自分で通信機能の設定をする場合、保護者が知らないうちにインターネット接続をしていることもあるかもしれません。家庭できちんと管理ができていますか？

ネットを取り巻く問題

### プリクラ手帳とインターネット

撮影した写真をサーバーに送信し、携帯やゲーム機からサイトにアクセスし、写真を加工できるサービスです。設定によっては世界中に自分の写真を配信してしまうこともあります。

### プロフ

主に携帯電話からサイトにアクセスし、名前や学校名を書き込んで自己紹介のページが簡単に作れます。これも個人情報や世界に配信してしまう危険性があります。

子ども達のゲームの使い方 DSを使ってチャット【会話】ができます。沖小の子ども達も「DSのえがお」の機能で通信をし、時には、ふとんの中で遅くまでしている子がいるそうです。保護者の方の知る範囲で行うのはよいのですが、正しい使い方をさせてください。

### ☆気をつけてください。

休み中、大型ショッピングセンターのゲームセンターに行き、保護者と離れて遊んでいるとき、知らない人から、自分のゲーム機の中の強いアイテムを交換させられたという子がいます。できるだけ一緒に行動をお願いします。